

化学部 高文連全道大会報告 2部門で総文祭出場決定

北海道高等学校文化連盟第 60 回全道高等学校理科研究発表大会に出場し、研究発表化学部門とポスター展示部門で総文祭代表に選ばれました。また、日本化学会北海道支部研究奨励賞も受賞しました。総文祭は令和 4 年 8 月 2 日(火)～4 日(木)に東京都で行われます。

今年度の全道大会は、新型コロナウイルス感染症流行のため、昨年度に引き続き Web 開催となりました。論文・ポスターと発表映像で審査が行われ、12 月 11 日(土)にはオンラインでの生徒交流会が実施されました。研究発表の 3 件すべてが総合賞、ポスター展示の 2 件もすべて優秀ポスター賞でした。緊急事態宣言で活動できない時期もあったため、短期間で実験結果を出し、論文にまとめなければならず、かなり大変な 1 年でありましたが、最高の結果で終わることができました。

《全道大会の結果》

研究発表 化学部門

「アルカリ型 Al-Cu 電池の正極反応」

総合賞（総文祭代表）

「吸光度測定による塩析力の定量化」

総合賞（日本化学会北海道支部研究奨励賞）

研究発表 物理部門

「クラドニ図形の単純化」

総合賞

ポスター展示部門

「亜鉛板は腐食するとなぜ黒くなるのか ～酸溶解とダニエル電池における原理の違いと電子顕微鏡による表面の観察～」

優秀ポスター賞

「備長炭電池における負極での気体発生」

優秀ポスター賞

